

令和5年度 多摩市立連光寺小学校 学校評価書

学校教育目標	
◎ 考えてやりぬく子 ○ 明るく思いやりのある子 ○ たくましくじょうぶな子	
目指す学校像(学校経営ビジョン)	
(1)児童が「もっと伸びたい」と実感できる学校 (2)保護者・地域の方にとって、安全・安心で信頼できる学校 (3)教職員にとって、やりがいをもって協働できる学校	
目指す子供像	目指す教師像
(1)主体的に学び、学んだ知見が SDGs の達成へ寄与していることを実感する児童 (2)思いやりと社会性を持ち、実践できる児童 (3)自己防衛力をもち、心身の逞しさを身に付ける児童	(1)SDGs 達成に向けた人材育成を図る教師 (2)児童理解を基に、家庭や地域と連携して、誰もが生き生きと生活する社会の実現を図る教師 (3)困難に立ち向かい、児童に課題克服させていく教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

(1)確かな学力の育成

重点目標	① 学びに向かう学習意欲の向上と基礎学力の定着 ② 読書指導の充実を基にした読書の好きな児童の育成と言語能力の向上 ③ ESDを用いてSDGsの達成を実現する人材育成			
評価項目 (目標とする成果・指標%)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営連絡協議会委員の意見
学習活動の工夫を行い、学習意欲と学力の向上で自己肯定感を高める。児童評価 90%。	3	習熟度別指導、個別課題、交換授業、自主学習、外部講師、ICT活用等実施。工夫と継続をしていく。児童評価 76%。	A	・結果には結びつかないところもあるようですが、学校の工夫や努力は感じます。 ・読書については家庭での活字離れが大きく影響し、学校でできることは少ないと思う一方で、だからこそ必要だとも思う。 ・SDGs は児童が良く知っていて児童館に来館した際に教えてもらうことがある。意識の高さが伺える。
読書指導の推進による貸し出し冊数の増大と読書の好きな児童の育成。児童評価80%。	2	各学年の図書時間を 10~30 時間確保し実施。低学年の貸し出し冊数は増加。図書委員会の活動を拡大する。児童評価 65%。	B	
SDGs 達成に資する ESD の実践を行うことでの児童の自己有用感向上。児童評価 90%。	4	学びが世界的課題である SDGs とどう結びついていくのか、自分事として捉えさせることができた。児童評価 71%、教員評価 90%。	A	
評価のまとめ	・個別指導、交換授業、自主学習、豊富な外部指導者、図書の時間確保等、基礎学力向上に向けた取り組みの実践は積み重ねているが、まだ成果として如実には表れていない。複合的に継続していくことで成果を上げたい。 ・SDGs が学習活動の中に確実に定着している。視野が広がり、事象に対する実感が高まった。募金活動への高い関心もその一つである。この学習活動を継続することが自己有用感をもたせることに繋がる。継続、実践を重ねていく。			

【評語について】

自己評価			学校関係者評価	
評語	達成状況	成果指標	評語	自己評価の適切さ
4	申し分なく達成した	90%以上~100%	A	適切である
3	おおむね達成した	70%以上~90%未満	B	おおむね適切である
2	やや下回った	40%以上~70%未満	C	適切でない
1	大きく下回った	40%未満	D	評価は困難である

(2)豊かな心の育成

重点目標	① 基本的生活習慣の確立 ② 優しさのある言動の醸成 ③ 道徳科の授業力向上と人権意識の向上、いじめの防止			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営連絡協議会委員の意見
来校者への応対を含む、校内外でのあいさつの励行。登下校の規律の徹底。教員評価 80%。	3	あいさつは高学年はできた。低学年の活動で喚起したい。登下校の規律は向上している。教員評価 69%。	A	・低学年のあいさつは習慣化できているかどうかだと思ふ。 ・挨拶は言葉だけでなく顔や目を見る意識も必要。大人が積極的にしていきたい。 ・うさぎの教室飼育は微笑ましく子供たちの癒しにもなっている良い取り組みである。 ・人権意識は常に考えることが大切である。
飼育動物を通じた優しさのある立ち振る舞いの育成。	4	2年生のうさぎの教室飼育は成果有。他者理解向上。新規の不登校出現が 0。教員・保護者評価 88%・97%。	A	
「考え、議論する道徳」の授業力向上による人権尊重意識向上、及びいじめの防止。児童評価 85%。	3	授業の質的向上は見られるが、児童の想いを更に共有させる。人権意識向上に指導を重ねた。児童評価 90%。	A	
評価のまとめ	・低学年のあいさつについては、次年度あいさつ運動等への活動の参加等により実践力を高める。登下校の規律は身に付いてきたが、切れ目なく継続。 ・うさぎやヤギによるアニマル・セラピーは確実に効果を出している。2年生の教室飼育も軌道に乗った。ヤギのお世話については地域協働を模索中。 ・道徳の授業力は向上しているが、児童が意見交換によって共感や共鳴、変心といった様子に至るにはまだ余地がある。教員の授業講座を継続実施する。			

(3)健やかな体の育成

重点目標	① 危機管理能力の向上と自己防衛力の育成 ② 心と体の健康指導の充実 ③ オリパラ教育の継承と、学校 2020 レガシーの充実			
評価項目 (目標とする成果・指標 %)	自己評価		学校関係者評価	
	評語	現状の分析と改善策	評語	学校運営連絡協議会委員の意見
ネットモラルをセーフティ教室で全学年実施。年間通して自己防衛力を高める。教員評価 90%。	4	最重要課題として取り組んだ。次年度もセーフティ教室で全校実施。不審者、交通事故事案は0。教員評価 88%。	A	・ネットモラルはネットとの付き合い方を学ぶ子供たちには繰り返し必要。 ・生活・総合発表会は子供たちのがんばりが素晴らしかった。 ・ごみ拾いが表彰され、とても良いことだと思う。
行事を重視し、児童の取り組みの強化とフィードバックによるくじけな	3	運動会、学習発表会、宿泊学習、遠足、生活・総合発表会等、自主性を育む活動を徹底。児童評価 83%。	A	
オリパラ教育を継承した体育集会実施とボランティア・マインドの活動の継続。学校 2020 レガシーとしての環境保全活動の実践。	4	体育集会は完全再開。ごみ拾いは表彰。SDGs13,14,15に資する環境保全活動は学習で実施したことを市民や環境省を通じた発信も行った。	A	
評価のまとめ	・SNSトラブルは本校の最重要課題となっている。授業、講座、おたより、保護者会等、様々な機会を企画し用いて、児童と保護者に啓発を続けていく。 ・行事への真摯な取り組みと振り返りは継続する。併せて、遅くなった自分のメタ認知を促すことで、自己肯定感を高めていく。 ・ボランティア・マインドは本校児童に親和性がある。環境保全活動と絡めて今後も継続、実践していく。			

(4) 家庭や地域との連携

重点目標	① 徹底した情報公開による教育活動の協働 ② 新しい時代に向けたPTA活動 ③ 放課後子ども教室民間委託試行		
評価項目	自己評価		学校関係者評価
	評語	現状の分析と改善策	評語 学校運営連絡協議会委員の意見
様々な媒体を通じ情報提供を徹底し、地域と家庭との教育活動の協働を実践。保護者評価90%。	4	学校便りで児童育成に関わる啓発文章を意図的に掲載。学校HPも同様。月15万回の閲覧。大変好評。保護者評価96%。	A ・学校便り、学校HPを楽しみにしている。情報量も質も高く雰囲気や様子がよくわかる。
学校公開や行事での、PTAとの企画・立案・運営の協働。学校運営協議会評価90%。	4	5月の道徳授業地区公開講座はPTAと共催。運動会、学習発表会のパトロールも協働した。清掃等のボランティア活動をさらに充実させたい。	A ・連携が各方面で積極的に行い素晴らしい。 ・地域に開かれ、しっかり安全管理もしている。子供たちが地域で育つためにどれも大切な取り組みである。
放課後子ども教室の民間委託(地域団体)試行実施への協働と円滑な実施。	4	10月より運営開始。施設面、運用面での学校と一体化した協力ができた。児童・保護者にも居場所として大変好評。	A ・居場所としての放課後子ども教室が進んでいて素晴らしい。
評価のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育活動を進める上で、保護者や地域に情報発信を行い理解を得て連携を行うことで、より推進力が増す。今後もできる限りの情報発信、連携を行い、児童の成長に寄与していく。</li> <li>・放課後子ども教室は多摩市のパイロット校としての取り組みである。次年度は夏季休業中の開催も行う。学校としてより良い運営のために協働し、他校の参考となる事例としていく。</li> </ul>		

2 次年度に向けた学校経営の方向性、課題等

<p><b>【考えてやりぬく子の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交換授業や外部指導者、自主学習、ICT機器の活用、オンライン授業、個別課題学習、読書時間の確保、読書推進の取り組み等の学習内容と学習方法の多様化を開拓し進め、学習意欲と基礎的学力、応用力の向上を図る。</li> <li>・総合的な学習においては、ESDやSDGsへの取り組みにアントレプレナーシップを取り入れ、社会の一員として求められる活動はどのようなものかというスタンスを思考過程でもてる学習活動を進める。</li> </ul> <p><b>【明るく思いやりのある子の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物飼育を児童、教員、保護者、地域と多くの方に携わっていただくことで、教育的効果を更に高めていく。</li> <li>・教員の道徳科の授業力向上のため、実践研修、授業観察、授業公開等の多様な取り組みを継続して進める。他者理解や人権尊重を基盤とした優しさや逞しさの育成をする。</li> </ul> <p><b>【たくましくじょうぶな子の育成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSトラブルを最重要課題と捉え、あらゆる機会や場を用いて啓発と指導を進めていく。道徳授業地区公開講座のテーマとし、講演会も実施する。PTAの委員会や保護者会においても話題とし、共通理解を進める。</li> <li>・ボランティア・マインドと環境保全活動を融合させた取り組みを今後も進め、児童が地域に貢献することで、自己有用感を実感させる活動を意図的に進めていく。</li> </ul> <p><b>【家庭や地域との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開や発信、協働の呼びかけを意識して行い、教育的効果の増大を図る実践を行っていく。</li> </ul>
---

以上のとおり報告いたします。

令和6年2月22日

多摩市立連光寺小学校 校長 関口 寿也

公印

# 令和5年度 学校評価書



## 多摩市立連光寺小学校

